

大阪の教育がめざすもの 《「基本的な目標」のたたき台》

社会経済状況の変化

- (1) 人口減少社会の到来と少子高齢化の進展
 - ⇒ 一人ひとりが持つ能力を最大限に伸ばし発揮
 - 家庭・地域も含めた社会全体の教育力の向上
 - (2) 国際化・経済のグローバル化の進展
 - ⇒ グローバル社会で生き抜き、活躍する力
 - (3) 格差の増大と固定化
 - ⇒ 全ての子どもの学びの支援
 - (4) 雇用環境の変化
 - ⇒ 社会の形成者として自立して生きる力
 - (5) 東日本大震災の教訓
 - ⇒ 絆や、地域コミュニティの充実
 - 夢と志を持って社会を生き抜く力
- ◎社会経済状況が変化する中、住民・子どもをはじめ社会の多様なニーズに応える教育の必要性

大阪の教育をめぐる動き

- (1) 教育行政基本条例・府立学校条例の制定
 - ⇒ 社会経済情勢の変化や住民の声の反映
 - 教育に関与する全ての者による教育振興
- (2) 公立高校授業料無償化・私立高校授業料無償化
 - ⇒ 公私による切磋琢磨
- (3) 教育における地方分権の推進
 - ⇒ 市町村との役割分担と連携

基本的な目標

めざす目標像

- 自らの力や個性を発揮して夢や志を持ち、果敢にチャレンジする人づくり
- 大きく変化する社会経済情勢や国際社会の中で、自立して力強く生きる人づくり
- 違いを認め合い互いを尊重しながら、自律して社会を支える人づくり

教育振興の目標

- 全ての子どもの学びの支援
- 教育の最前線である学校現場の活性化
- 社会総がかりでの大阪の教育力の向上